

専門医・指導医の初回認定・更新における認定基準

【業績】 取得単位をもって業績評価とする。

取得単位は 1. 学会参加 2. 学会発表 3. 論文 4. セルフトレーニング問題正答 5. e-ラーニング問題正答から構成される。

専門医, 指導医の初回認定および更新において必須基準をみたし, かつ規定単位数の取得をもって業績の条件とする。

1. 学会参加

- ・本学会の年次学術集会参加は必須であり, 回数については専門医, 指導医の初回認定および更新において必須基準が異なる。
- ・その他下記【学会参加および学会発表として認められる学術集会等】に定める学会の参加を単位として認める。
- ・同一学術集會会期中において開催される生涯教育プログラムを複数受講しても 5 単位とする。

2. 学会発表

- ・下記の単位を, 出席単位に追加して取得を認める。
筆頭者……………各学会出席単位の 2 倍
共同発表……………各学会出席単位の 1/2
- ・教育講演, シンポジウム, パネルディスカッション, ワークショップなど抄録のあるものとする。
- ・指導医については地方学術集會での発表は 1 回のみを認める。
- ・専門医・指導医の初回認定における発表学会は下記【学会参加および学会発表として認める学術集會等】に掲載された学会に限る。
- ・本学会の年次学術集會以外の学会, 研究会における発表は, 維持透析患者に関する発表に限る(下記, 【学会発表・論文に関する注意点】参照)

3. 論文

- ・以下のものを論文業績と認め, 以下の単位取得を認める。
- ・本学会誌に発表した原著, 症例報告, 総説
筆頭著者……………20 単位
共同著者…………… 2 単位
本学会誌とは, 日本透析医学会雑誌, Renal Replacement Therapy, Therapeutic Apheresis and Dialysis (なお, Therapeutic Apheresis and Dialysis 誌は, 2021 年 12 月末までに発行されたものに限る)を指す。
- ・その他の雑誌の原著, 症例報告(維持透析患者に関する論文に限る。下記, 【学会発表・論文に関する注意点】参照。また総説・解説は認めない)
筆頭著者……………5 単位
共同著者……………1 単位
その他の雑誌とは以下のいずれかの条件を満たす雑誌とする。なお, 院内誌や製薬メーカー誌は認めない。
①編集委員会にレフェリー制度があるもの。
②学会の proceeding
③大学病院で発行されたもの。
- ・資格認定・更新の申請締め切り日までに, 発行あるいは受理(アクセプト)されていること。

4. セルフトレーニング問題正答

- ・専門医, 指導医更新の際必須であり, 5 単位取得できる.
- ・毎年, 取得単位として認める.

5. e-ラーニング問題正答

- ・1 単位取得できる. ただし, 「教育講演(60 分間講演)」を 1 回または「教育講演(30 分講演)」を 2 コマ連続で 1 回視聴し正答すること.
- ・e-ラーニング視聴による年間認定単位数上限は 5 単位とする. (e-ラーニングによる単位は, 同年の年次学術集会期間中の教育講演で単位を取得していない者のみが取得できる.)
- ・専門医・指導医の更新において, 認定期間 5 年間のうち e-ラーニングおよび生涯教育プログラムの受講により認定される取得単位数の上限は 25 単位とする

【学会発表・論文に関する注意点】

- ・本学会の年次学術集会における学会発表, 本学会誌における論文はいずれも業績として認める.
- ・それ以外の学会発表, 論文は, 維持透析患者に関するものに限る. 以下に業績として認める学会発表・論文の要点を示すが, この点は, これまでたびたび議論されたので, 提出の際, 留意されたい.
 - 維持透析患者を対象としたもの.
 - 維持透析の導入に関するもの.
 - 維持透析の透析アクセスに関するもの.
 - 維持透析患者に対する腎移植に関するもの.

【専門医, 指導医の初回認定・更新において必要な業績基準】

		必要取得 単位数	必須の業績基準(*1)
専門医	初回認定	30	本学会年次学術集会参加 1 回以上, 学会筆頭発表 1 件以上と論文 1 編以上の両者(*2)
	更新	50	専門医認定期間 5 年間に, 本学会年次学術集会参加 2 回以上およびセルフトレーニング問題を 1 回以上正答すること
指導医	初回認定	60	申請時より過去 5 年間に於いて本学会年次学術集会参加 3 回以上(うち 1 回分は本学会認定地方学術集会参加でも可, ただし地方学術集会参加は 1/2 回と計算する) 学会筆頭発表(論文筆頭著者での代用可) 2 件以上(うち本学会年次学術集会 1 件以上または本会誌論文 1 編以上)
	更新	50	指導医認定期間 5 年間に, 本学会年次学術集会参加 2 回以上およびセルフトレーニング問題を 1 回以上正答すること(*3)

注* 1 : 必須の業績基準に含まれる業績も取得単位としてカウントする.

注* 2 : 専門医の初回認定については, 筆頭者としての学会発表, および論文(必ずしも筆頭でなくてもよい)の両方が必要である.

注* 3 : 指導医更新期間のセルフトレーニング問題 1 回以上正答は, 専門医更新期間中のセルフトレーニング問題を 1 回以上正答すれば兼ねることができる.

【学会参加および学会発表として認められる学術集会等】

学会参加および学会発表として認める学術集会等には下記のようなものがある.

1. 本学会およびその研修
2. 基本領域学会およびその研修
3. 本会指定学会およびその研修
4. 関連学会・研究会およびその研修
5. 国際学会

詳細な個別の学術集会等については, 学会ホームページを参照のこと

【学会参加および学会発表として認める学術集会等】

	対象学会、研究会、研修	単位			
		参加による 単位	発表による 追加単位		
			筆頭	共同	
本学会 および その研修	年次学術集会	10	20	5	
	年次学術集会の教育講演	5	20	5	
	関連地方学術集会	5	10	2.5	
	地方学術集会における本学会主催生涯教育プログラム	5	10	2.5	
基本領域学会 および その研修	日本内科学会 総会	5	10	2.5	
	地方会（地区レベル）	2	4	1	
	日本小児科学会 総会	5	10	2.5	
	地方会（地区レベル）	1	2	0.5	
	日本外科学会 総会	5	10	2.5	
	日本泌尿器科学会 総会	5	10	2.5	
	東部・中部・連合総会	3	6	1.5	
	地方会（県レベル）	1	2	0.5	
	日本救急医学会 総会	5	10	2.5	
日本麻酔科学会 総会	5	10	2.5		
本会指定学会 および その研修	日本医学会総会	10	20	5	
	日本腎臓学会 総会	5	10	2.5	
	東部会または西部学術大会	3	6	1.5	
	日本人工臓器学会総会	5	10	2.5	
	日本 ME 学会総会	3	6	1.5	
	日本移植学会	3	6	1.5	
	日本小児腎臓病学会	3	6	1.5	
	日本小児腎不全学会	3	6	1.5	
	日本透析医会/研修セミナー	3	6	1.5	
透析療法従事職員研修	10	発表による 取得単位なし			
関連学会、 研究会 および その研修	日本急性血液浄化学会	日本アフェリシス学会	3	6	1.5
	日本医工学治療学会	日本腹膜透析医学会			
	日本腎臓病薬物療法学会	日本腎臓リハビリテーション学会			
	日本フットケア・足病医学会	日本透析アクセス医学会			
	日本サイコネフロロジー学会	日本血液透析濾過医学会			
	日本在宅血液透析学会	透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会			
	日本腎・血液浄化 AI 学会	日本腎不全合併症医学会			
	日本 CKD-MBD 学会	血液浄化心不全研究会			
	日本腎不全外科研究会	日本透析クリアランスギャップ研究会			
	全国腎疾患管理懇話会	日本腎栄養代謝研究会			
	日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会	日本小児 PD・HD 研究会			
	腎不全研究会	日本次世代人工腎臓研究会			
	日本高齢者腎不全研究会	長時間透析研究会			
	日本透析機能評価研究会	日本インターベンショナルネフロロジー研究会			
	透析運動療法研究会	腎とフリーラジカル研究会			
国際学会	ICN	ASN	5	10	2.5
	ASAIO	ISAO			
	ISBP	INFA			
	APCM-ISPDP2019				